

【様式1】

概要書

<p>研究名</p>	<p>黒糖カチ割り装置の開発</p>
<p>民間機関等 (相手方)の名称</p>	<p>株式会社 黒糖本舗垣乃花</p>
<p>研究の概要</p>	<p>日本最大の黒糖の産地として名高い沖縄は、400年前からサトウキビを栽培し黒糖を生産している。株式会社黒糖本舗垣乃花も創業45年を迎え、工場内の品質管理や生産過程における自動機器の導入を進めている。現在、主力製品である「カチワリ黒糖」は、その作業をすべて手作業で行っている。大きな刃物を使用しており、安全面の配慮が難しい。また、ハンドル操作を行うため立ち作業により重労働となっている。当校は様々な企業との共同研究を行っており、その実績があった。そこで、「カチワリ黒糖」に係る装置の自動化について共同研究の申請を受領した。</p> <p>現在、当該企業において次の問題点がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 分断機能（カット部）は刃先が鋭利なため、安全に考慮しなければならない。 ② 現有の装置は作業台の上に置かれ、ハンドルは作業者の肩ほどの高さにあるため、作業者は常に腕を上げた状態で作業をしなければならない。 ③ 限られたスペースでの作業であるため、装置は省スペース型でなければならない。 <p>本研究では省スペース型で原料を投入後、自動で黒糖カチワリを製造する機能を有する装置を開発する。この装置は安全性に配慮され、食品製造業に適合できることを前提条件とする。沖縄県を代表する県産品として、地域社会の貢献に寄与したい。</p>